

横浜市立荇子田小学校
令和元年度 学力向上アクションプラン

1 中期学校経営方針

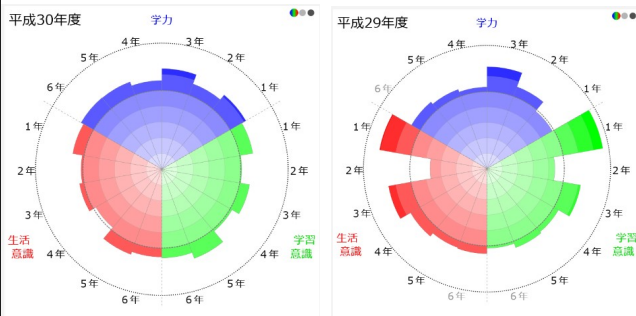
(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標
<p>○授業で勝負しながら、思いやりある人をつくり、笑顔いっぱいの学校をつくります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語能力を高め、各教科等を通じて伝えあう活動を重視することで、学力を向上します。 ・道徳学習や特別活動、児童指導の充実を図り、子どもが自尊感情をもち、楽しく学校生活を送れるようにします。 ・教職員の意識のアンテナを高め、礼儀や規律の意義を共有し、落ち着いた生活環境を整えます。 ・「人」とのつながりを意識し、豊かな体験を通して、学校や地域を愛する心を育てます。

(2) 学力向上に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野	取組目標	具体的取組
<p>生きて はたらく知</p>	<p>基礎基本の定着に重点を置くとともに、「学び合い」を重視した授業を取り入れ、主体的に問題解決をしていく中で、思考力・表現力の育成を目指す。</p>	<p>①教科担当制を取り入れ、教材研究を充実するとともに、教員のよさを生かした授業を展開することで、基礎・基本の定着を目指す。②重点研究会を充実し、国語科を中心に、言葉で伝えあいながら主体的に問題解決していく力を育成する。</p>
<p>担当</p>	<p>授業研究部</p>	

2 横浜市学力学習状況調査等からの実態把握



(1) 学力の概要と要因の分析

全体的には、すべての学年において横浜市の平均を上回る学力がある。学習意識や生活意識においても、平均または平均以上の値を示している。しかし学年が上がると、校外生活より学校生活の意識が低くなっていることから、学校生活の楽しさや充実感を感じることができるよう工夫する必要がある。

(2) 教科学習の状況

- 国語科：すべての学年がすべての観点で市の平均を上回っている。
- 算数科：第3学年「数学的な考え方」が市平均を下回っている。その他は全て、市平均を上回っている。
- 社会科：「知識・理解」「技能」は市平均を上回っており、4年生の「思考・判断・表現」はかなり上回っている。
- 理科：「知識・理解」は市の平均を上回っている。4年生と6年生の「技能」がやや下回っている。

(3) 経年変化の状況と要因の分析（学習・生活意識調査も含めて分析）

平成28年度から30年度過去3年間の経年変化の状況から、学校全体として学習意識が高まっている状況が見られる。特に重点研の国語における学習意識と学力ともに高まっていることから、授業の改善が成果を上げていると考えられる。また、学力層を見ると学力の高い児童は「勉強が好き」と答えた児童の割合が市の平均を大きく上回っているが、学力の低い児童が「勉強が好き」と答えた児童は市の平均を大きく下回っている。他の項目においても同様の傾向があり、今後もどの学力層の児童も意欲をもち、学力につながる授業を作っていくことが求められている。

3 令和元年度 学年・教科等としての具体的取組

1 学年

- 国語科や生活科等で、経験したこと、気づいたこと、分かったことを文章に書くなど、表現活動を大切にするとともに、できる限り対話をする場面を位置付ける。
- 分からないこと、詳しく知りたいことを尋ねたり、気持ちを表情や態度、言葉で表したりしながら対話するように指導する。
- 自分の経験と結び付けて、感想や考えをもつように指導する。

2 学年

- 生活科等で、体験を通して自分の生活について考えられるよう報告する文章や説明する文章を書くなど、表現活動を大切にするとともに話し合いをする場面を位置付ける。
- 学習意識を向上させるために、児童の興味を引くような授業の導入や展開を考え、実践する。
- 自分の経験と結び付けて、感想や考えをもつように指導する。

3 学年

- 理由や根拠を尋ねたり、まとめたり補足したりしながら話し合うように指導する。
- 社会科等で見学・調査したことを説明する文章、記録する文章を書くなど、表現活動を大切にするとともに、話し合いをする場面を位置付ける。
- 学習計画を示し、見通しをもった学習ができるようにする。

4 学年

- 順序を付けたり関連付けたりして考える学習を計画的に位置付ける。
- 国語・社会・算数・理科等で説明する文章、記録・報告する文章を書くなど、表現活動を大切にするとともに、話し合いをする場面を位置付ける。
- 相手の考えを認め、相手の考えを取り入れ、自分の考えを述べながら、話し合うことができるように指導する。

5 学年

- 『横浜の時間』等で説明する文章、意見を述べる文章を書くなど、表現活動を大切ににする。
- 話し手の意図をつかみながら、自分の考えと比較して自分の考えをまとめられるように指導する。
- 関連付けたり分類・整理したりして考える学習と振り返りを計画的に位置付ける。

6 学年

- 教科等の学習で今まで身に付けた様々な文章を書く力を自覚的に生かすことができるようにするとともに、話し合いをする場面を位置付ける。
- 曖昧な点を明確にしたり、違った視点を打ち出したりしながら話し合うように指導する。
- 関連付けたり、分類・整理したり、多面的に考えたりする学習と振り返りを計画的に位置付ける。

個別支援学級

- 個別の教育支援計画・個別の指導計画に基づき、話し言葉、表情、仕草、書き言葉等、発達段階に応じた適切なコミュニケーション手段を積極的に活用する場面を位置付ける。
- 子どもの発達段階や興味をもつものに応じて、各学年の取り組みを参考にしながら活動する。
- 見通しをもって一日の活動ができるよう、視覚的な教材を用意し、主体的に行動できる環境を整備する。